

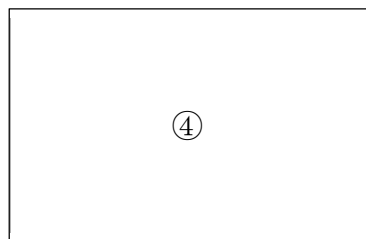
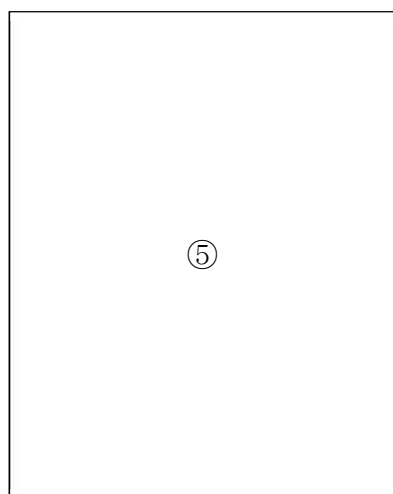
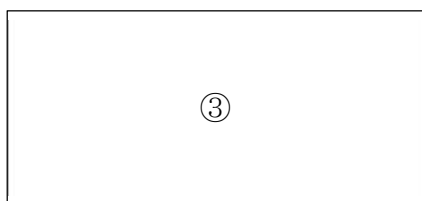
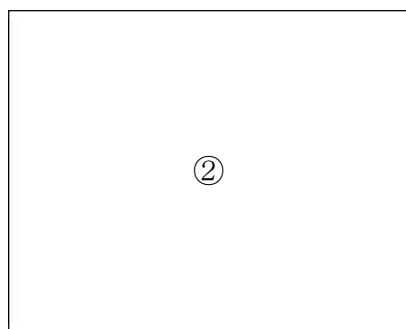
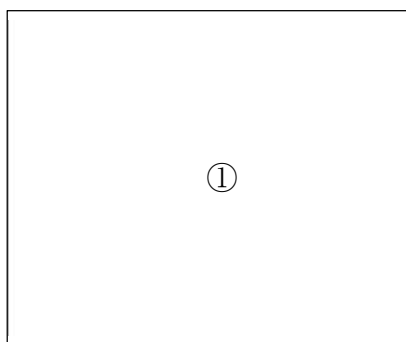
— 「食と緑が支える豊かな暮らし」の実現に向けて —

## 食と緑の知多地域レポート 2022



2022年8月  
知多農林水産事務所





表紙写真の説明

- ① 広域農道の舗装工事（建設課）
- ② 魚食の伝道師出前授業（水産課）
- ③ 森林・林業なるほど出前講座（林務課）
- ④ 東海市で産地化に取り組む「夕焼け姫」（農業改良普及課）
- ⑤ 花きの消費拡大に向けた展示（農政課）

## 持続可能な開発目標 SDGs(エスディーゼーズ)

SDGs とは、2001 年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。

この目標は 17 のゴールで構成されており、本レポートでは、「II 知多地域における重点推進事項の取組状況」において該当する項目のアイコンを表示しています。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### [凡例]

「II 知多地域における重点推進事項の取組状況」の「取組目標」枠内に記した

**農**などの記号は、各目標に取り組む担当課名を略して表示したものです。

**農**・・・農政課      **普**・・・農業改良普及課      **水**・・・水産課

**建**・・・建設課      **林**・・・林務課

# 目 次

I	食と緑の知多地域レポート作成の趣旨	1
II	知多地域における重点推進事項の取組状況	
1	明日の農業を担う人材確保プロジェクト	2
	【取組目標】①新規就農者の確保	
2	儲かる農業づくりプロジェクト	3
	【取組目標】②「産地戦略」ごとの収益性の向上	
3	マーケット・フル活用プロジェクト	4
	【取組目標】③産地直売施設、観光農園など消費者へ直接販売する新たな取組	
	④6次産業化等の推進による付加価値商品の開発	
4	豊かな海の再生プロジェクト	6
	【取組目標】⑤有用水産種苗の放流	
	⑥新規漁業就業者の確保	
5	持続的発展のための農水産業の基盤整備プロジェクト	8
	【取組目標】⑦農道の整備・保全延長	
	⑧水産共同利用施設の整備	
6	県土の安全・安心プロジェクト	10
	【取組目標】⑨ため池の防災・減災対策により被害が未然に防止される面積	
	⑩山地災害に対する防災機能の向上が図られる面積の確保	
7	食と緑を知ってもらおうプロジェクト	12
	【取組目標】⑪農林水産業の理解を深める取組に参加した人数	
	⑫地域等で取り組む保全活動面積の確保	
III	重点推進事項（取組目標）の実施状況	14
IV	地域の特徴的な取組事例（トピックス）	
1	耕作放棄地を活用した加工用みかん新規参入の取組	15
2	ブドウ鳥獣害対策の実施	16
3	日間賀島におけるマガキシングルシード養殖の取組	17
4	第5地域保全隊生き物調査イベントの開催	18
5	木材関連団体と協力して木育イベントの開催	19

## I 食と緑の知多地域レポート作成の趣旨

愛知県は、将来にわたって「安全で良質な食料等の安定的な供給が確保され、かつ、その適切な消費及び利用が行われること」、「森林と農地の有する多面的機能が適切かつ十分に発揮されることにより、安全で良好な生活環境が確保されること」の2つを基本理念とする「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」を平成16年4月に施行し、この条例の基本理念の実現を図るため、平成17年2月に「食と緑の基本計画」を策定・公表しました。

その後、令和2年12月には、第4期計画となる「食と緑の基本計画2025」を策定し、知多農林水産事務所におきましても、知多地域の強みや特色を活かした農林水産業の振興、農村の活性化を図るため、「食と緑の基本計画2025知多地域重点推進プラン」を令和3年3月に策定・公表し、県民や関係団体等との連携により様々な取組を行っています。

本誌「食と緑の知多地域レポート2022」は、「食と緑の基本計画2025知多重点推進プラン」に掲げた7つの重点推進事項を的確に推進するために、12の取組目標に対する令和3年度の取組状況と地域の特徴的な取組事例を取りまとめました。

## II 知多地域における重点推進事項の取組状況

### 1 明日の農業を担う人材確保プロジェクト



取組目標① 新規就農者の確保 5年間で130人

農 普

#### 【施策の目的】

知多地域では、高齢化や後継者の不足により、農業者は減少傾向にあり、その解決が大きな課題となっています。

一方では、多くの人が新規就農を希望し相談に訪れており、これらの人々が農業者として自立できる経営を確立することが課題解決のために必要です。

このため、新規就農を希望する人が農産物の生産技術を習得して就農できるよう、相談者へきめ細やかな支援を行います。

#### 【取組の内容】

農業改良普及課内に設置した農起業支援センターにおいて、就農希望者への経営品目、技術習得、就農農地等の就農相談活動を実施して、就農者が策定する就農計画・制度資金等計画書の作成を支援しました。

農業次世代人材投資資金や経営体育成事業を活用して、経営基盤を確立し、新規就農者の定着を支援しました。



新規就農者セミナー



就農状況を確認するサポートチーム

#### 【取組の実績・成果】

新規就農相談者数は62名、延べ相談回数は125回でした。この結果、農家子弟のUターン15人、新規参入者11人、合計26人の新規就農者を確保しました。

年度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	2025(令和7)
目標(人)	26 (累計)	26 52	26 78	26 104	26 130	130 (A)
実績(人)	26 (累計)(B)	—	—	—	—	—
進捗率(%) (B)/(A)	20.0	—	—	—	—	—

#### 【今後の方向】

今後も引き続き、新規就農者の確保・育成に努めます。



## 2 儲かる農業づくりプロジェクト



取組目標② 「産地戦略」ごとの収益性の向上 5年間で10%

農 普

### 【施策の目的】

農業者の経営状況が一層厳しくなる中、将来を見据えた農畜産物の生産性の向上が必要です。そこで、産地が一丸となって、主要産地・品目ごとの課題解決に向けた「産地戦略」を作成、支援し、収益性の向上をめざします。

### 【取組の内容】

これまでに策定したふきを始めとする9つの産地戦略に基づき、各産地における高品質な農畜産物の生産量増、販売力強化等を支援しました。また、かんきつ、キク、養豚に係る3つの新たな産地戦略を策定しました。



ふきの袋包装



採卵鶏舎（半田市）



育成鶏舎（常滑市）

### 【取組の実績・成果】

ふきでは、従来の「ラップ包装」に代わる「袋包装」の導入を進めており※、収益性が順調に向上しています。

畜産では、養鶏農家2戸でそれぞれ、採卵鶏舎（半田市）、育成鶏舎（常滑市）が整備され、収益性向上につながる生産基盤が確保されました。

※「ラップ包装」は熟練した技術が必要で作業効率が悪いいため、省力的な「袋包装」の導入により、作業時間と労賃の削減を図る。

年度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)
評価対象戦略数(A)	7	9	12(予定)	12(予定)	12(予定)
目標達成戦略数(B)	3	—	—	—	—
達成率(%) (B)/(A)	42.8	—	—	—	—

(注) 当該年度の前年度の実績を評価（2021年度は2020年度の実績）

### 【今後の方向】

主要な産地、品目を対象に、市町、JA等と連携し、新たな計画を作成するとともに、過年度に作成した計画の収益性等目標達成に向けて、支援を継続していきます。

### 3 マーケット・フル活用プロジェクト



**取組目標③ 産地直売施設、観光農園など消費者へ直接販売する新たな取組**  
5年間で10件

農 普

#### 【施策の目的】

知多地域は、地理的・社会的条件としてインバウンドを含む交流人口を多く見込める地域です。これを積極的に活かした経営を推進するため、農業者の直接販売の取組等を支援し、販路の多様化を図ります。

#### 【取組の内容】

J Aあいち知多の知多鉢物生産者が、これまで取引先を産地に招待し、実物を見る内覧方式だったものをコロナ禍でも対応できるように、Webサイトの立ち上げを支援して、オンライン展示会を開きました。

また、スリーシーズ合同会社の総合化事業計画の具体化を支援して通信販売が開始されました。



「食べるどぶろく」

Web 展示会の  
ホームページ

#### 【取組の実績・成果】

J Aと連携して、Web 展示会を秋と春の2回開催しました。生産者23名が出席し、取引市場等60社が期間中に閲覧しました。

また、スリーシーズ合同会社が「食べるどぶろく」のネット通信販売を開始したほか、青年等就農資金を活用したいちご狩り園が美浜町と武豊町で開設されました。

年度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	2025(令和7)
目標(件)	3 (累計)	1 4	2 6	2 8	2 10	10 (A)
実績(件)	4 (累計) (B)	—	—	—	—	—
進捗率(%) (B)/(A)	40.0	—	—	—	—	—

#### 【今後の方向】

引き続き、農業者の直接販売を支援します。



取組目標④ 6次産業化等の推進による付加価値商品の開発 5年間で40品 農 普

**【施策の目的】**

6次産業化とは、農林漁業者が主体となって農林漁村に豊富に存在する地域資源を有効に活用し、農林漁業（一次産業）、製造業（二次産業）、小売業（三次産業）との総合的かつ一体的な推進を図り、新たな付加価値を生み出す取組（1次×2次×3次＝6次産業化）です。こうした6次産業化等の取組を支援して、付加価値商品の開発を行うとともに、販路の多様化を図ります。

**【取組の内容】**

総合化事業\*計画の策定支援、食品コンテストへの出品誘導等を行い、知多地域に存在する地域資源を有効に活用した加工食品の開発を支援しました。

また、農業者の品種登録に向けた手続きの助言支援を行いました。

※農林漁業者が農林水産物の生産及び加工又は販売を一体的に行う事業活動

**【取組の実績・成果】**

加工食品・・・いちごジャム（株式会社山笑う里）始め9件

新品種出願・・・観葉植物2品種（ヘデラ、リシマキア）



いちごジャム（山笑う里）



ヘデラの新品種（葉が丸く、周辺部に斑入り）

年度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	2025(令和7)
目標(品)	8 (累計)	8 16	8 24	8 32	8 40	40 (A)
実績(品)	11 (累計) (B)	—	—	—	—	—
進捗率(%) (B)/(A)	27.5	—	—	—	—	—

**【今後の方向】**

市町、JA、民間事業者と連携し、事業等を有効に活用しながら、付加価値商品の開発や販路の多様化を支援していきます。

## 4 豊かな海の再生プロジェクト



取組目標⑤ 有用水産種苗の放流 毎年 14,760 千尾 (個) 水

### 【施策の目的】

知多地域は、県内でも有数の漁業地域ですが、海面漁獲量は年変動が激しい傾向にあります。有用な水産資源の持続的利用を可能とするため、資源の維持・増大を図ります。

### 【取組の内容】

漁業者等が実施する種苗\*放流について、県では放流スケジュールなどの調整や放流適地・放流方法などに関する技術的な支援をして、愛知県栽培漁業センターで生産された有用水産種苗を放流しました。

※人工生産又は天然採捕した水産動植物の稚魚・稚貝等の総称



アワビの種苗



クルマエビの放流

### 【取組の実績・成果】

クルマエビ、ヨシエビ、ガザミ、トラフグ、ナマコ、アワビの6魚種の種苗について、総計 14,698 千尾(個)の種苗を放流しました。

年度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	平均
目標 (千尾(個)) (A)	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760	14,760
実績 (千尾(個)) (B)	14,698	—	—	—	—	14,698
達成率(%) (B)/(A)	99.6	—	—	—	—	—

### 【今後の方向】

引き続き、有用な水産資源の維持・増大を推進します。

**【施策の目的】**

知多地域では、高齢化や後継者不足により、漁業者数は減少傾向にあり、水産業における新規就業者対策は重要な課題となっています。

**【取組の内容】**

漁業就業希望者に対して水産試験場を窓口とする漁業就業者確保育成センターを通じて情報提供し、水産関係団体への仲介を行いました。また、国の制度を活用した漁業就業希望者の研修が効果的に実施できるよう支援・助言等を行いました。

漁業経営の開始に必要な漁船や漁具などの購入資金の確保や、知識の修得に対し、相談に応じました。

さらに、新規就業者が安定した収入を得ることができるよう、アサリなど水産物の資源量調査結果などの情報提供やノリ等の生産技術指導を行いました。



漁業者への情報提供



養殖技術の普及

**【取組の実績・成果】**

新卒4人（うち漁家子弟3人）、他業種からの転職4人（うち漁家子弟3人）、合計8人の新規漁業就業者を確保しました。

年度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	2025(令和7)
目標(人)	13 （累計）	13 26	13 39	13 52	13 65	65 (A)
実績(人)	8 （累計）(B)	—	—	—	—	—
進捗率(%) (B)/(A)	12.3	—	—	—	—	—

**【今後の方向】**

カキ等の養殖導入実証試験を実施し、得られた養殖技術の普及を行うなど漁業者の新たな収入源を確保し、新規就業者の確保に努めます。

## 5 持続的発展のための農水産業の基盤整備プロジェクト



取組目標⑦ 農道の整備・保全延長 5年間で15.7km

建

### 【施策の目的】

近年、都市化の進展に伴い、農業車両はもとより、農業用以外の一般車両の通行、特に大型車両の通行量が増加しており、農道建設後10年を経過した頃から舗装の傷みが著しくなってきました。これに伴い、維持管理費の増加や出荷時の荷傷みによる品質の低下が見られるようになってきたため、老朽化した舗装を再整備することにより、出荷施設への輸送、大都市圏への出荷に係る走行経費の節減や品質の向上を図ります。

### 【取組の内容】

経営体育成基盤整備事業（基幹農道整備保全対策、一般農道整備保全対策）で、集出荷施設への輸送、大都市圏への出荷に係る走行経費や維持管理費の節減、作物の品質向上を図ることを目的に、舗装の再整備を行いました。



常滑2期地区（味覚の道）（常滑市）



南知多1期地区（すいせんロード）（南知多町）

### 【取組の実績・成果】

3地区を実施し、4.6kmの舗装整備を行いました。

年度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	2025(令和7)
目標(km)	2.3 （累計）	3.6 5.9	3.6 9.5	3.6 13.1	2.6 15.7	15.7 (A)
実績(km)	4.6 （累計）(B)	—	—	—	—	—
進捗率(%) (B)/(A)	29.3	—	—	—	—	—

### 【今後の方向】

予算確保に努め、老朽化した舗装整備の積極的な推進に努めます。



【施策の目的】

知多地域の水産業においては漁業協同組合が所有する共同利用施設の老朽化が進んでおり、漁獲物の供給に不安を抱えています。

これらの施設の老朽化は、施設の維持管理コストの増大につながり、鮮度を維持した良質で安全な水産物の供給に重大な支障を及ぼしており、計画的に整備・保全、機能強化を推進します。

【取組の内容】

漁業・漁村の防災対策の推進、水産業共同利用施設について、地先漁場生産力の強化、水産物の衛生管理強化、漁業就労環境改善に資する取組を支援しました。



フォークリフト



フィッシュポンプ

(魚を水とともに吸いあげて移送する装置)

【取組の実績・成果】

フォークリフト、海水取水管、フィッシュポンプなど10施設の整備・保全、機能強化を図りました。

年度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	2025(令和7)
目標 (施設)	6 (累計)	6 12	5 17	5 22	5 27	27 (A)
実績 (施設)	10 (累計) (B)	— —	— —	— —	— —	—
進捗率(%) (B)/(A)	37.0	—	—	—	—	—

【今後の方向】

漁業生産力の強化を図るため、管内漁業協同組合及び市町と連携して現場のニーズをいち早く把握し、事業の効果が最大限発揮されるよう取り組んでいきます。



## 6 県土の安全・安心プロジェクト



取組目標⑨ ため池の防災・減災対策により被害が未然に防止される面積  
5年間で 333ha

建

### 【施策の目的】

ため池は、地域農業の重要な役割を果たしていますが、地震時における堤体の安定性不足や豪雨時の洪水吐<sup>※1</sup>の排水能力不足により、農地・農作物・農業用施設・公共施設・家屋等に多大な被害を及ぼす恐れがあります。

知多地域にも、ため池が多く存在し、特に防災重点農業用ため池<sup>※2</sup>を中心に耐震性能調査を行った結果、多くのため池の耐震性不足が判明したため、耐震対策、豪雨対策が必要です。

※1 ため池への洪水の流入に対し、堤体の安全を確保するために設けられた放流設備

※2 決壊した場合の浸水区域内に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与える恐れのあるため池

### 【取組の内容】

耐震性不足が判明したため池のうち耐震対策の緊急性の高いものから順次、防災ダム事業、緊急農地防災事業により地盤改良や押え盛土等の堤体補強工事を行いました。また、洪水吐の排水能力が不足しているため池については、耐震工事に併せて洪水吐の改修を行いました。



久原新池（武豊町）



中ノ池（東海市）

### 【取組の実績・成果】

久原新池を始め5池（161.5ha）の耐震対策工事等を完了させました。

年度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	2025(令和7)
目標(ha)	88 (累計)	87 175	109 284	0 284	49 333	333 (A)
実績(ha)	161.5 (累計)(B)	—	—	—	—	—
進捗率(%)(B)/(A)	48.5	—	—	—	—	—

### 【今後の方向】

予算確保に努め、耐震対策、豪雨対策の積極的な推進に努めます。

**取組目標⑩ 山地災害に対する防災機能の向上が図られる面積の確保**  
5年間で 70ha



**【施策の目的】**

知多地域では、海岸部に沿った狭い平地に民家が建ち並び、その背後に急な山腹面があるという特徴があり、特に山崩れなどの山地災害に対する地域の安全性の向上を図る必要があります。

**【取組の内容】**

管内の7市町(常滑市、東海市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町及び美浜町)の人家裏などの山林15か所で治山事業を実施しました。

南知多町の内海地区では、吹付工により山腹斜面の安定化を図り、また、南知多町の篠島地区では、法枠工<sup>\*</sup>による山腹斜面の安定化と植生基材の吹付けによる早期緑化を図り、山地災害に対する安全性の向上に努めました。

※山腹斜面の安定を図るため、格子状の鉄筋等にモルタルを吹付ける工法



山地災害に備えた人家等の保全  
(南知多町 内海地区)



植生基材の吹付による早期緑化の促進  
(南知多町 篠島地区)

**【取組の実績・成果】**

治山事業の受益地区となる15か所(20.7ha)の防災機能の向上を図りました。

年度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	2025(令和7)
目標(ha)	14 ┆(累計)	14 ┆28	14 ┆42	14 ┆56	14 ┆70	70 (A)
実績(ha)	20.7 ┆(累計)(B)	—	—	—	—	—
進捗率(%) (B)/(A)	29.5	—	—	—	—	—

**【今後の方向】**

引き続き、山地災害に対する安全性の向上に努めます。

## 7 食と緑を知ってもらおうプロジェクト



取組目標⑪ 農林水産業の理解を深める取組に参加した人数 毎年 1,020 人

農 普 水 建 林

### 【施策の目的】

県民が本県農林水産業の魅力や重要性を理解し、健全な食生活を実践するとともに、県産品購入や農林漁業体験を楽しむ「農のある暮らし」が活発になる社会をめざします。

### 【取組の内容】

農林水産業のPRや農林漁業体験の機会の確保、食育の推進などに継続して取り組み、県民の農林水産業の理解を深めるイベントなどを行いました。



魚食の伝道師出前授業



親子木工教室



PR イベント



研修交流会

### 【取組の実績・成果】

【農政課】 16人（食育推進ボランティア研修交流会）

【水産課】 199人（魚食の伝道師出前授業）

【建設課】 340人（イベントでの農業農村整備事業パネル展示説明、アンケート）

【林務課】 603人（森林・林業なるほど出前講座、親子木工教室 等）

年度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	平均
目標(人) (A)	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020
実績(人) (B)	1,158	—	—	—	—	1,158
達成率(%) (B)/(A)	113.5	—	—	—	—	—

### 【今後の方向】

各種行事でのPRや機会の確保、食育の推進で県民の理解促進を図っていきます。



**【施策の目的】**

農山漁村の維持、農林水産業の持続的発展のためには、農山漁村等が有する多面的機能の発揮のため農地や里山林、漁場の保全に努めてもらう必要があります。

**【取組の内容】**

農業者や地域住民で構成される活動組織が行う農用地、水路、農道など施設の点検や農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持などを支援しました。

地域住民と行政が協力して保全・活用するために継続的に森林保全活動が行われるように支援しました。



横根地域水資源保全会（大府市）



森林保全活動（知多市）

**【取組の実績・成果】**

農業者や地域住民で構成される活動組織により農地面積 3,200ha を保全しました。また、東海市内を始めとした 10.3ha の里山林で、地域住民で組織された団体による森林保全活動が行われ、地域の良好な生活環境を保全するモデルとなりました。

度	2021(令和3)	2022(令和4)	2023(令和5)	2024(令和6)	2025(令和7)	平均
目標 (ha) (A)	3,210	3,210	3,210	3,210	3,210	3,210
実績 (ha) (B)	3,210	—	—	—	—	3,210
達成率 (%) (B)/(A)	100.0	—	—	—	—	—

**【今後の方向】**

引き続き、将来にわたり持続可能な農地、農村環境を守り、森林保全活動を推進していきます。

### Ⅲ 重点推進事項（取組目標）の実施状況

	重点推進事項	取組目標	目標値 (2025年度)	実績値				
				2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)
(1)	明日の農業を担う人材確保プロジェクト	① 新規就農者の確保	5年間で130人	26人				
(2)	儲かる農業づくりプロジェクト	② 「産地戦略」ごとの収益性の向上	5年間で10%	3達成/7産地				
(3)	マーケット・フル活用プロジェクト	③ 産地直売施設、観光農園など消費者へ直接販売する新たな取組	5年間で10件	4件				
		④ 6次産業化等の推進による付加価値高品の開発	5年間で40品	11品				
(4)	豊かな海の再生プロジェクト	⑤ 有用水産種苗の放流	毎年14,760千尾(個)	14,698千尾				
(5)	持続的発展のための農水産業の基盤整備プロジェクト	⑥ 新規漁業就業者の確保	5年間で65人	8人				
		⑦ 農道の整備・保全延長	5年間で15.7km	4.6km				
(6)	県土の安全・安心プロジェクト	⑧ 水産共同利用施設の整備	5年間で27施設	10施設				
		⑨ ため池の防災・減災対策により被害が未然に防止される面積	5年間で333ha	161.5ha				
(7)	食と緑を知ってもらうプロジェクト	⑩ 山地災害に対する防災機能の向上が図られる面積の確保	5年間で70ha	21ha				
		⑪ 農林水産業の理解を深める取組に参加した人数	毎年1,020人	1,158人				
		⑫ 地域等で取り組み保全活動面積の確保	毎年3,210ha	3,210ha				



## IV 地域の特徴的な取組事例（トピックス）

### 耕作放棄地を活用した加工用みかん新規参入の取組

【農政課】

#### 【取組の趣旨・目的】

知多地域は全国でも有数のかんきつ産地です。しかし、近年では生産者の減少や耕作放棄地の増加が問題となっていました。

一方、国内果樹産地のみかん品種は生食向け品種が中心で、加工に適した品種はほとんど生産されていません。そのため、缶詰メーカーであるトーアス（株）が、みかん缶詰への加工に適した国産原料を確保するために、加工用品種の栽培に自ら取り組もうとするものです。

#### 【取組の内容・効果】

半田市は、農業委員会と連携して、当時耕作放棄地となっていた農地を中心に、栽培用園地の確保に協力しました。

また、JAを始めとした産地関係者も、「果樹産地構造改革計画」に加工用品種の振興を位置づけ、苗木の新植に国の補助事業が活用できるよう、地域一体となってトーアス（株）を支援しています。

令和2年度から始まった加工用みかんの新植は、令和3年度末時点で耕作放棄地を中心に約7haまで広がっています。



灌木の生い茂る耕作放棄地



左の写真の農地に苗木を植え付けた

#### 【今後の予定】

トーアス（株）は13haの栽培を目標に、今後も農地の確保と園地化を進めています。令和7年度から収穫見込みの加工用みかんは、JAあいち知多の共選出荷場を通じて出荷され、グループ企業の国産みかん缶詰会社である岡本食品（株）で使用される予定です。

## ブドウ鳥獣害対策の実施

【農業改良普及課】

### 【取組の趣旨・目的】

ブドウ栽培はカラス等の鳥獣被害が頻繁に発生するため、生産者はさまざまな対策に取り組んでいますが、十分な対策ができないほ場では被害が続いています。

令和3年度は、生産者にアンケートを実施し鳥獣害被害の実態を把握するとともに、中型獣の加害状況を調査して、被害防止策を検討しました。

### 【取組の内容・効果】

アンケート調査の結果から、鳥類ではカラス、獣類ではハクビシンの被害が多いことがわかりました。

また、鳥獣害被害がないと答えた人は、防鳥ネットを設置していることが多いこともわかりました。

東海市と大府市各1か所のほ場でトレイルカメラ（全天候で自動撮影できる暗視カメラ）を設置して、中型獣の加害状況を確認しました。

ハクビシンやアライグマが侵入して食害する様子が撮影されるとともに、その侵入口も特定することができました。

この結果をもとに捕獲檻を設置するとともに、1つの園では獣の追い払い用として園内で犬を飼うことを検討しています。



柱を登りブドウを食害するハクビシン



捕獲されたハクビシン  
(捕獲地：新城市)

### 【今後の予定】

引き続き獣害対策に取り組むとともに、防鳥網が設置できない園での鳥害対策を検討します。

## 日間賀島におけるマガキシングルシード養殖の取組

【水産課】

### 【取組の趣旨・目的】

知多半島の漁港では、平貝、ミル貝、大アサリといった貝類が四季を通じて水揚げされます。しかし、近年ではアサリの不漁が続くなど天然資源に依存する漁業の経営の不安定さが顕在化しています。

そこで、県では多角化による漁業経営の安定を図るため、観光資源としても有望であるマガキ養殖について、日間賀島で漁業者とともに実証試験に取り組みました。

### 【取組の内容・効果】

#### 1 天然採苗試験

岸壁に着生している天然マガキに発想を得て、日間賀島の漁港内で採苗試験を実施したところ、6月頃から8月頃にかけて潮間帯（干潮時に干上がる水深帯）に採苗器を設置することで、天然のマガキ種苗を採苗できることがわかりました。



採苗器に付着したマガキ幼生

#### 2 シングルシード養殖試験

より高付加価値のマガキを生産するため、現在全国で広く行われている筏を用いた垂下連養殖とは異なるシングルシード養殖\*の導入について検討しました。この方法により、従来の生産方法に比べて筋肉質で形状の整ったマガキを歩留まり良く生産することができました。



シングルシード養殖の外観

\*一つ一つバラバラな状態の種苗をバスケットに入れて養殖する方法

#### 3 アンケート調査

試験生産したマガキを日間賀島島内の民宿業者、片名市場の仲買業者及び一般消費者に試験配布し、アンケート調査を実施しました。その結果、食味は5段階評価で、民宿業者4.63、仲買業者4.62、一般消費者4.73となり、高い評価を得ました。



試験生産したマガキ

### 【今後の予定】

天然採苗及びシングルシード養殖の安定化・効率化を図ると同時に、地域の需要に合った流通・販売方法についても検討していきます。

## 第5地域保全隊生き物調査イベントの開催

【建設課】

### 【取組の趣旨・目的】

農村地域に点在する水田や水路、ため池などは、さまざまな生き物にとって重要な生息空間です。東浦町の「第5地域保全隊」は、多面的機能支払交付金を活用し、町内のビオトープ池及びその周辺で、地域の子どもたちと一緒に、生き物調査を実施しており、当事務所も毎年イベントに参加しています。

### 【取組の内容・効果】

農業と農業用施設は自然環境と深い関わりをもつことや、生物多様性を保全することの大切さを子どもたちが肌で感じることができるよう、農業従事者、大人や子どもたちが一緒にビオトープ池にて、田んぼやその周辺に棲む生き物を調べながら、農業や環境についての理解と関心を深めました。また、農業農村整備事業を紹介したパネル展示や関連グッズの配布を行いました。



生き物調査の様子



捕獲した魚、エビ、カエル等の説明

### 【今後の予定】

引き続き同様のイベント開催により、子どもから大人まで広く県民に対して農村環境保全の重要性及び農業農村整備事業の効果と役割を伝えていきます。



## 木材関連団体と協力して木育イベントの開催

【林務課】

### 【取組の趣旨・目的】

日常の生活で森林の存在を感じる事が少ない県民に、森林や木材に親しみ、理解と関心を深めることができる機会が必要です。

そこで、令和4年2月26日（土）、27日（日）東浦町にある商業施設において、当事務所が主体となり、県内の木材業者や関連団体などと協力し、県産木材をPRする「森林（もり）と都市（まち）をつなぐ木育フェア」を開催しました。

### 【取組の内容・効果】

未就学児から低学年の子どもを連れた親子が、多数来場しました。

会場では、県産木材を使った家具や遊具を展示し、来場者に見て、触れてもらうことで、木材への親しみを持ってもらうことができました。

また、県産木材の端材を使った木工工作や木製シロフォン※<sup>1</sup>づくりを実施し、県産木材利用の普及啓発を行いました。

さらに、森ずきんちゃん※<sup>2</sup>が登場する時間を設け、風船やパンフレットによる「あいち森と緑づくり事業」のPRも実施しました。

※<sup>1</sup> 木特有の温かみのある音を感じることができる木琴

※<sup>2</sup> あいちの森と緑のマスコットキャラクター



木育フェア（イオンモール東浦）



あいち森と緑づくり事業PR

### 【今後の予定】

子どもを始め広く県民が木材に親しみ、理解と関心を深めることができるよう、普及啓発及び学習の機会の充実を図るよう努めます。





僕は、いいともあいち  
運動のシンボルマーク  
の「あいまる」です。



私は、あいち森と緑のマ  
スコットキャラクターの  
「森ずきんちゃん」です。

- ① 県内の消費者と生産者が  
今まで以上に いい友 関係になる。
- ② Eat more Aichi products.  
(もっと愛知県産品を食べよう。)

食と緑の知多地域レポート2022  
2022年8月

発行 愛知県知多農林水産事務所農政課  
〒475-0903 半田市出口町1丁目36番地  
電話 0569-21-8111(代表) 内線 231  
電子メール chita-nourin@pref.aichi.lg.jp



知多農林水産事務所